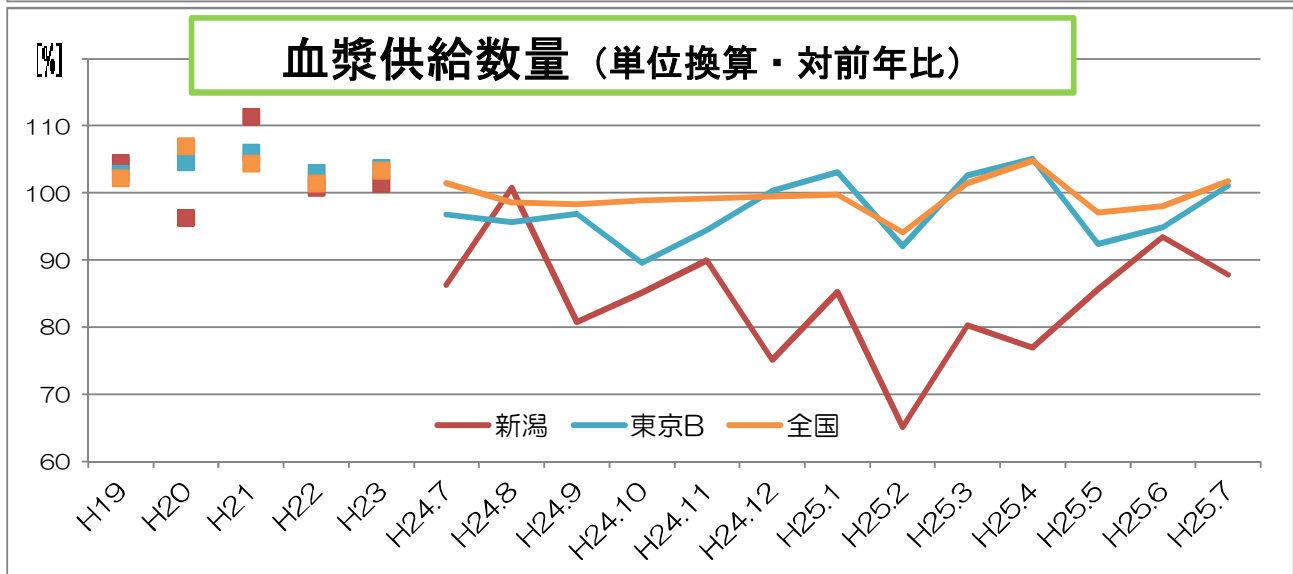
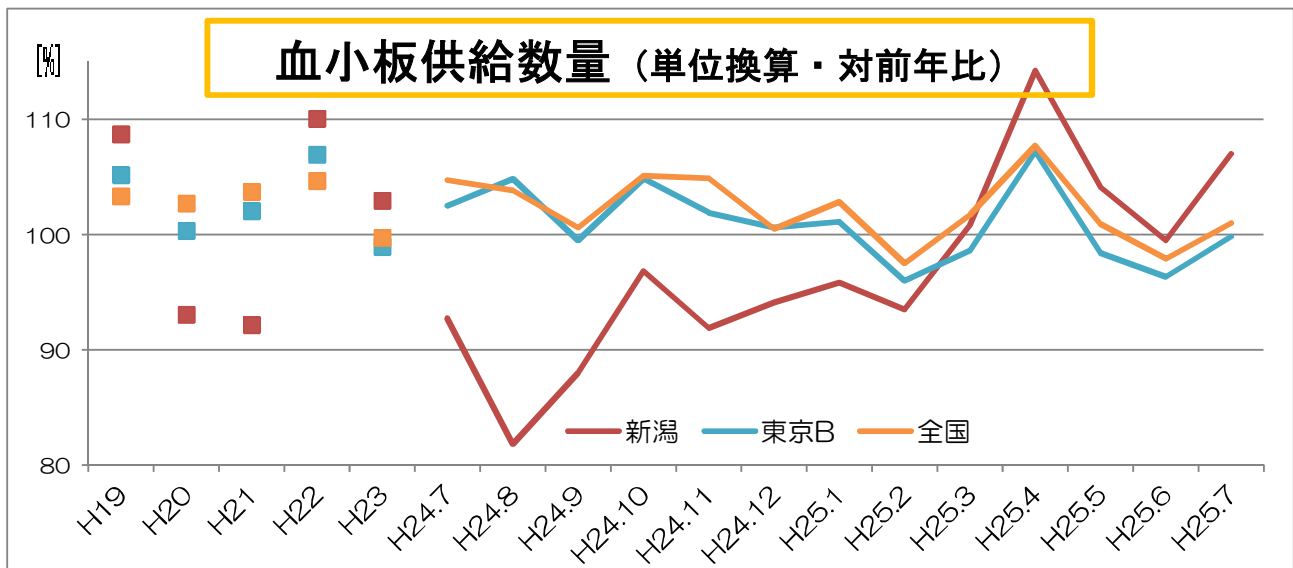
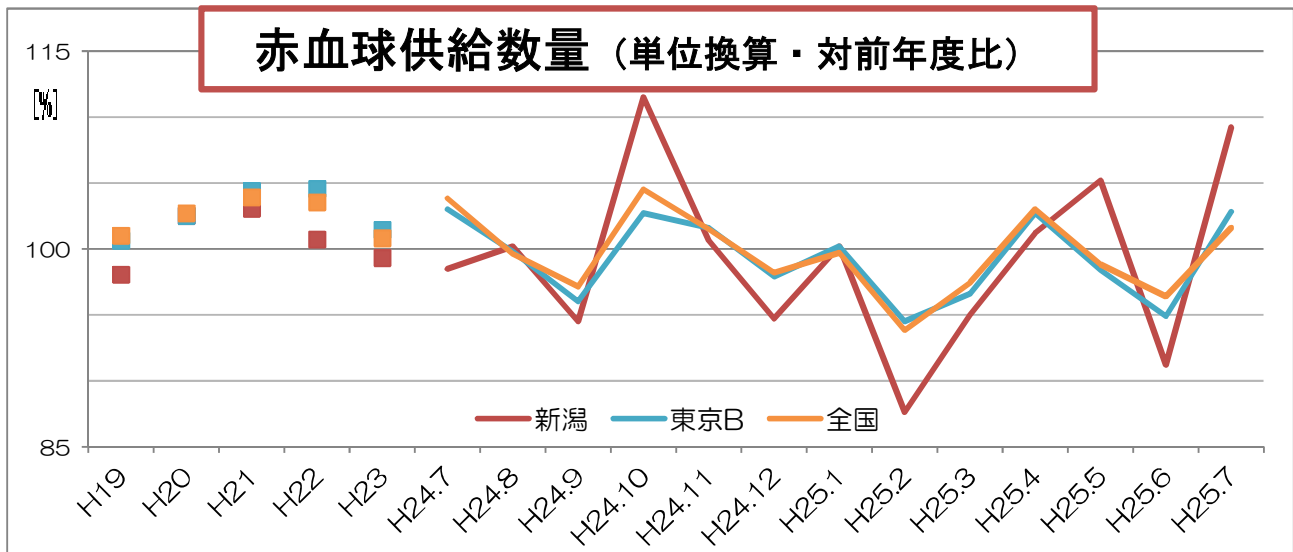
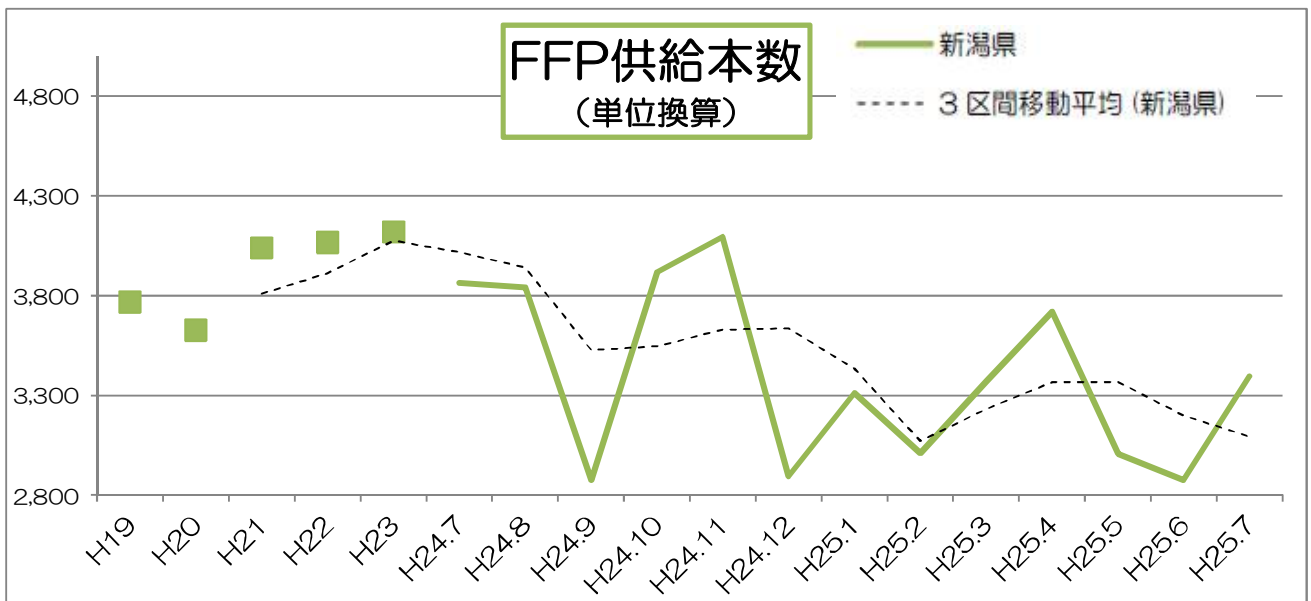
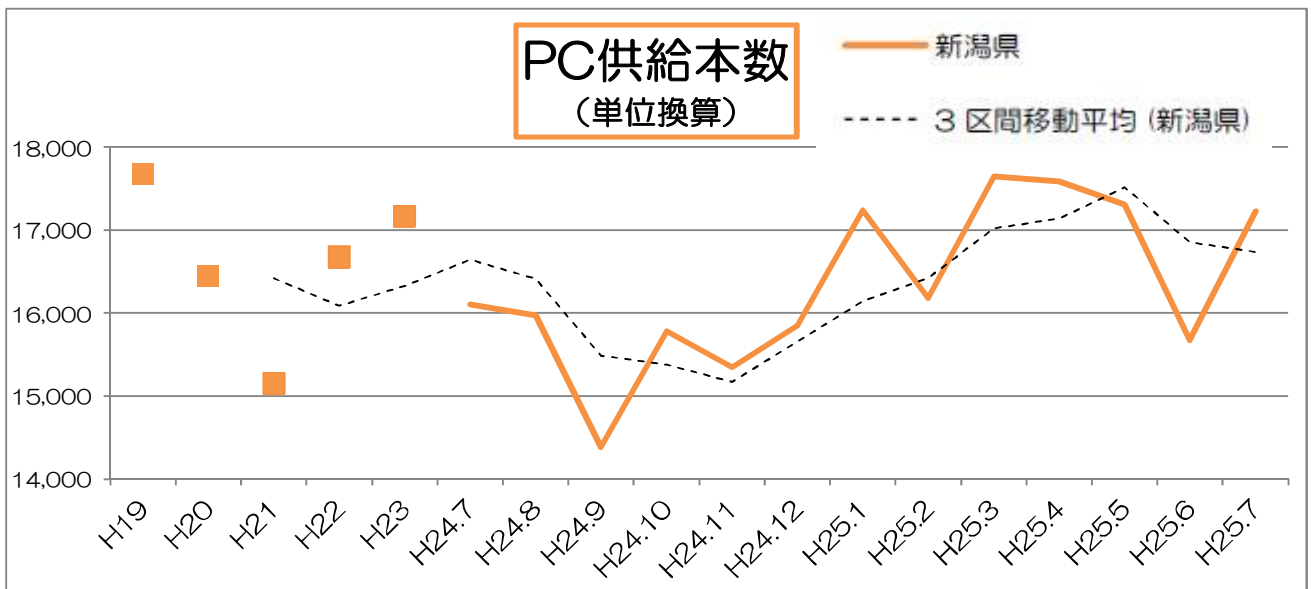
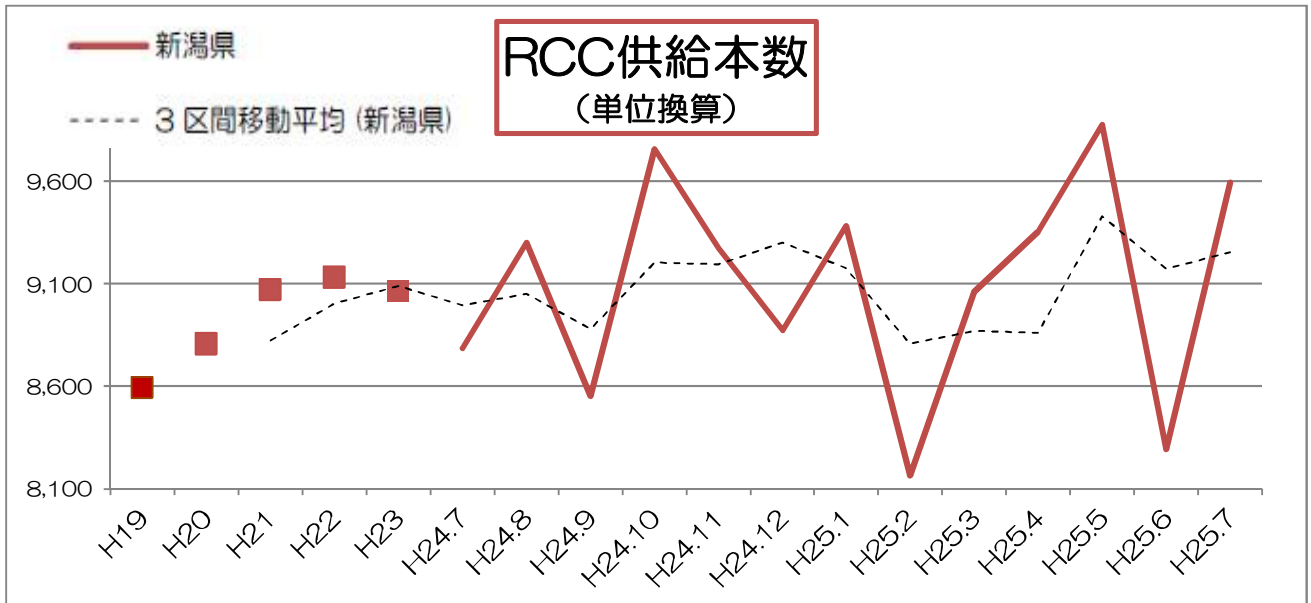


\* 日本赤十字社ホームページ「数値で見る血液事業」より引用。

\* 管内供給本数を単位換算、対前年同月比で示した。過去 5 年(月平均供給本数)のデータを追加した。





## H25 年 血液製剤使用状況集計結果

対象： 新潟県内の輸血を行う主要な医療機関 82 施設

入力いただいたデータは下記の表の通り一般病床数により 6 つの規模別に分類して集計

◆7 月の特徴：赤血球製剤はすべての規模で増加、特に A・B 施設と外科が今年一番の使用量。血小板製剤は F 以外で増加。診療科別では外科（1,000 単位増）と小児科（600 単位増）の影響が大きい。血漿製剤は A・B・D 施設で使用増加。診療科別では外科が先月比 49%の増加。

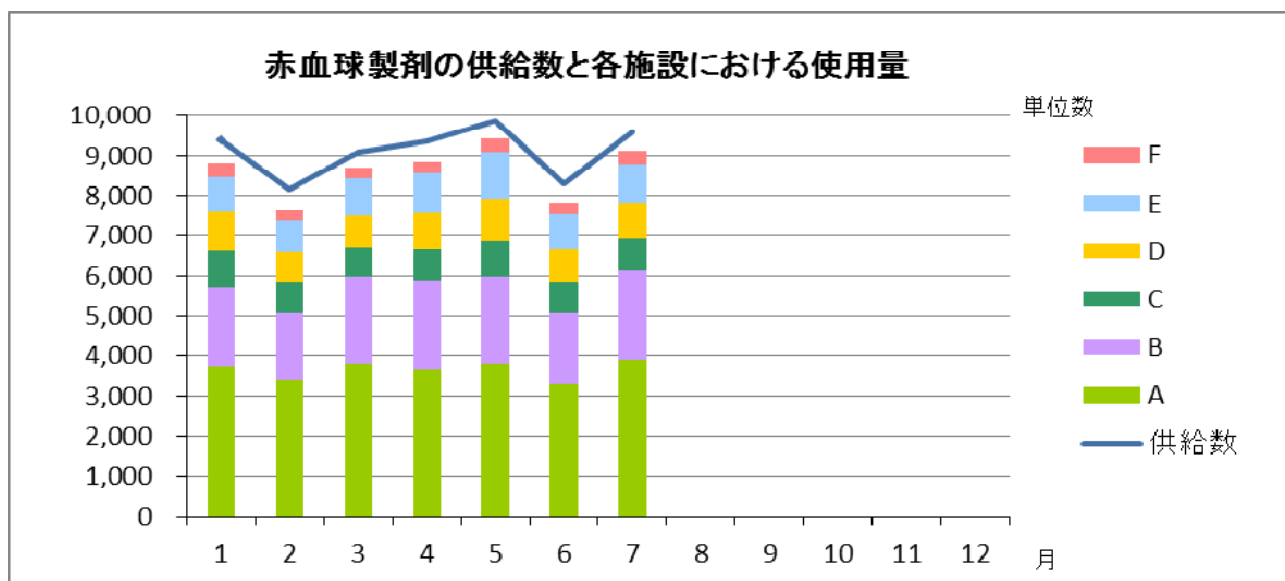
施設規模(一般病床数による)		施設数	病床数
A	500床以上	6	3,562
B	400～499床	5	2,135
C	300～399床	7	2,273
D	200～299床	10	2,513
E	100～199床	22	3,475
F	0～99床	32	1,626
計		82	15,584

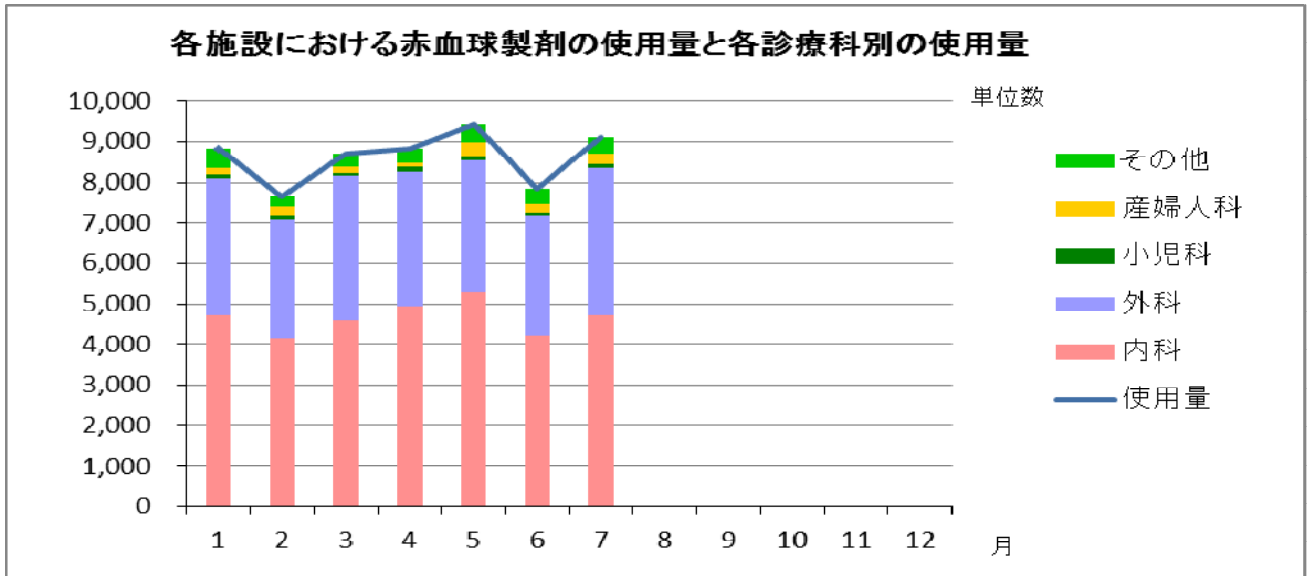
### ○赤血球製剤

赤血球製剤の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	3,878	1,925	1,359	106	195	293	3,878	100.0
B	2,272	1,111	1,107	0	46	8	2,272	100.0
C	771	452	284	0	4	31	771	100.0
D	894	366	476	0	0	52	894	100.0
E	949	581	356	0	6	6	949	100.0
F	335	287	48	0	0	0	335	100.0



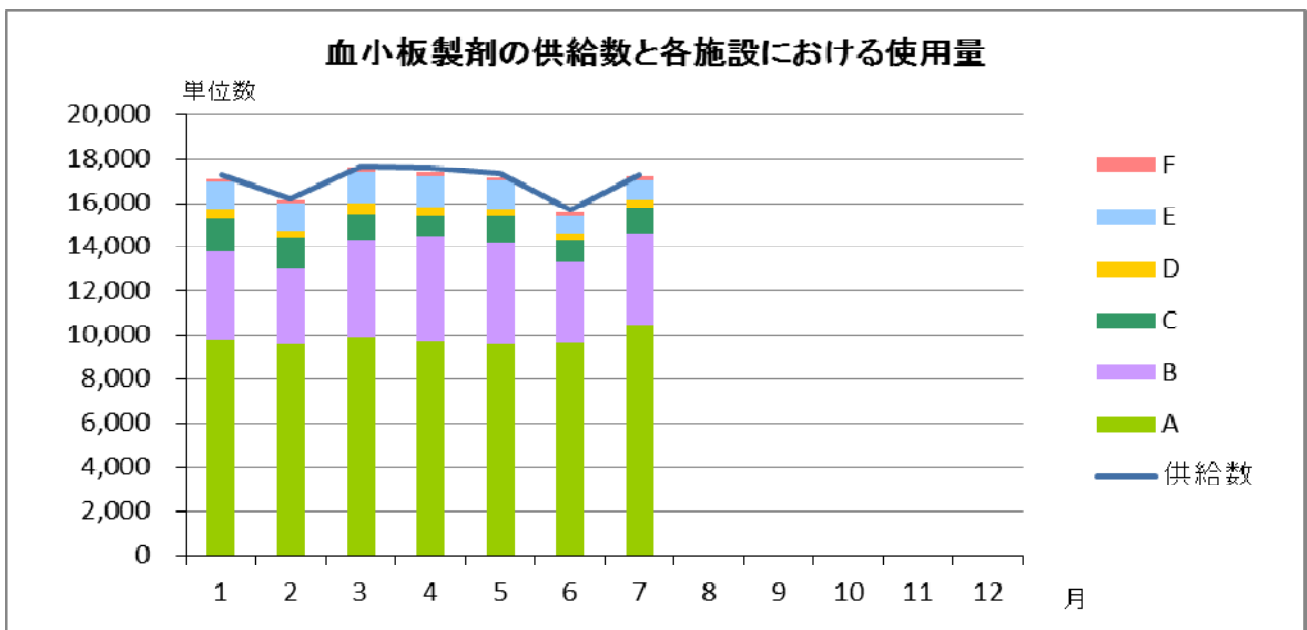


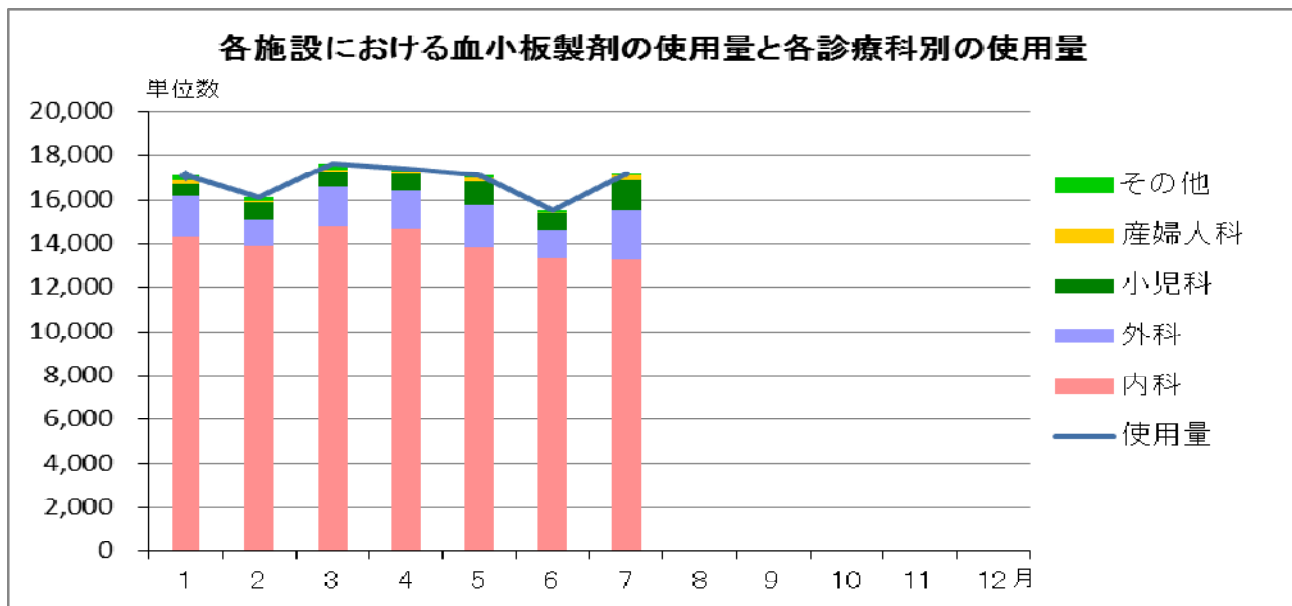
## ○血小板製剤

血小板製剤の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	10,450	7,990	840	1,355	175	90	10,450	100.0
B	4,130	3,230	900	0	0	0	4,130	100.0
C	1,175	1,040	135	0	0	0	1,175	100.0
D	370	190	120	0	60	0	370	100.0
E	900	735	165	0	0	0	900	100.0
F	170	90	80	0	0	0	170	100.0



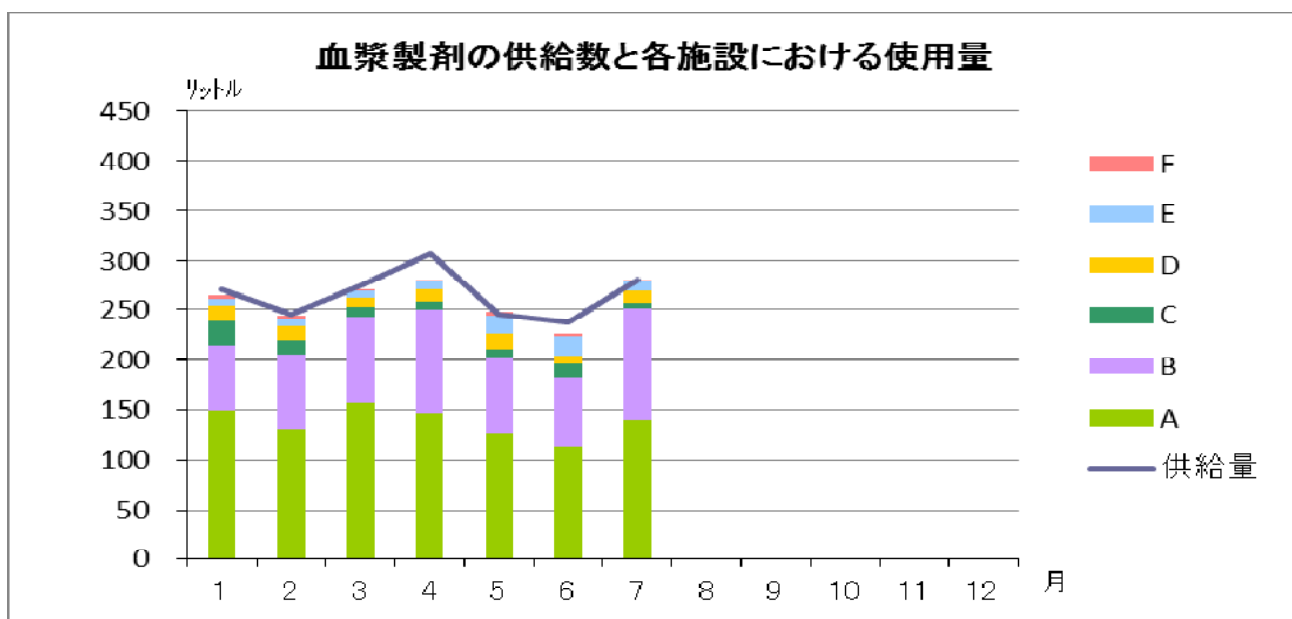


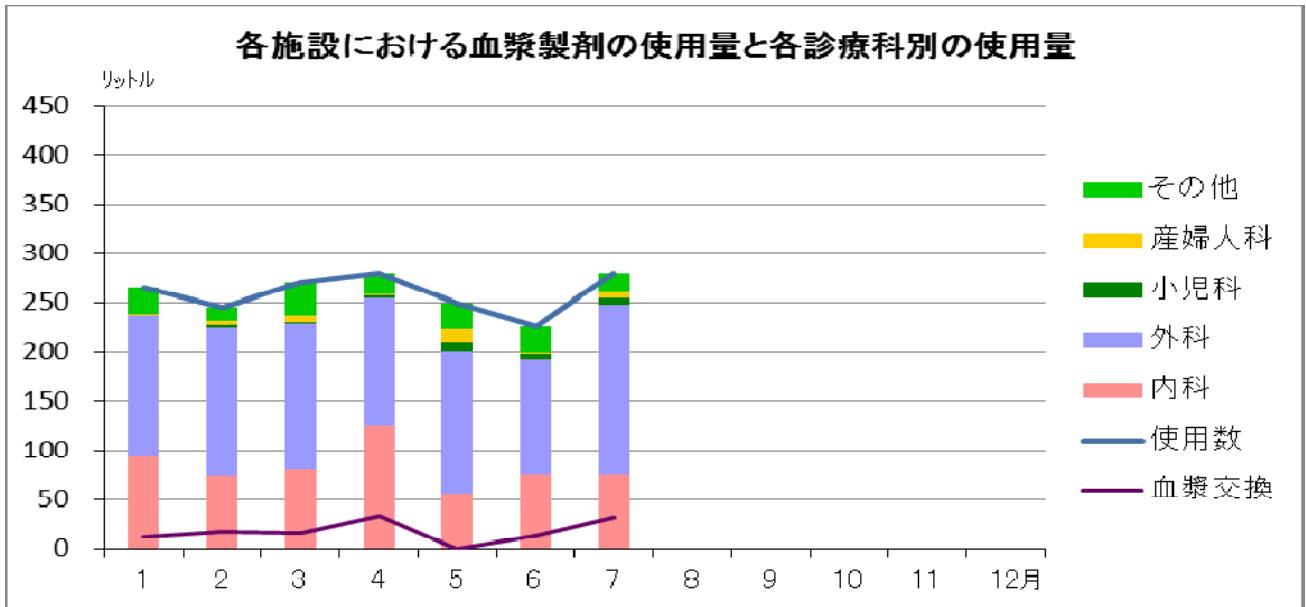
## ○血漿製剤

血漿製剤の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (リットル)	診療科別					計	全体の使用量 に対する割合 (%)	
		血漿交換	内科	外科	小児科	産婦人科			その他
A	139.2	0.0	25.2	85.0	5.4	7.0	16.7	139.2	100.0
B	112.4	32.4	46.9	64.4	0.0	1.1	0.0	112.4	100.0
C	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	100.0
D	12.7	0.0	1.4	9.4	0.0	0.0	1.9	12.7	100.0
E	9.4	0.0	1.0	7.5	1.0	0.0	0.0	9.4	100.0
F	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	100.0



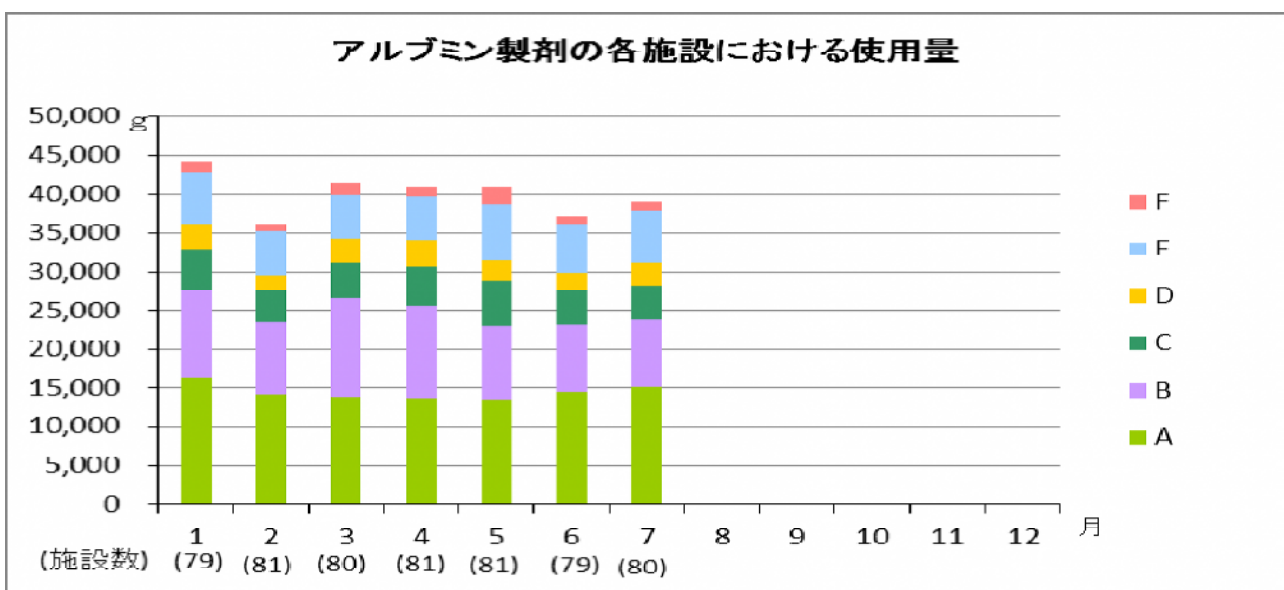


## ○アルブミン製剤

アルブミン製剤の使用量と各診療科別による使用量

- \* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示
- \* 輸血用血液製剤と異なり、全ての医療機関から回答を頂けていないため、入力されたデータのみを表示
- \* ( ) 内はアルブミン製剤の使用量の入力がされた施設数を表したのもの

規模別	全体の使用量 (グラム数)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A (6/6)	15,225.0	2,502.5	3,362.5	212.5	262.5	112.5	6,452.5	42.4
B (5/5)	8,687.5	2,575.0	2,637.5	0.0	0.0	0.0	5,212.5	60.0
C (7/7)	4,175.0	2,837.5	1,300.0	0.0	0.0	37.5	4,175.0	100.0
D (10/10)	2,988.0	1,142.2	820.8	0.0	25.0	0.0	1,988.0	66.5
E (22/22)	6,885.0	3,787.5	1,314.5	0.0	0.0	70.0	5,172.0	75.1
F (30/32)	1,106.5	1,048.5	58.0	0.0	0.0	0.0	1,106.5	100.0

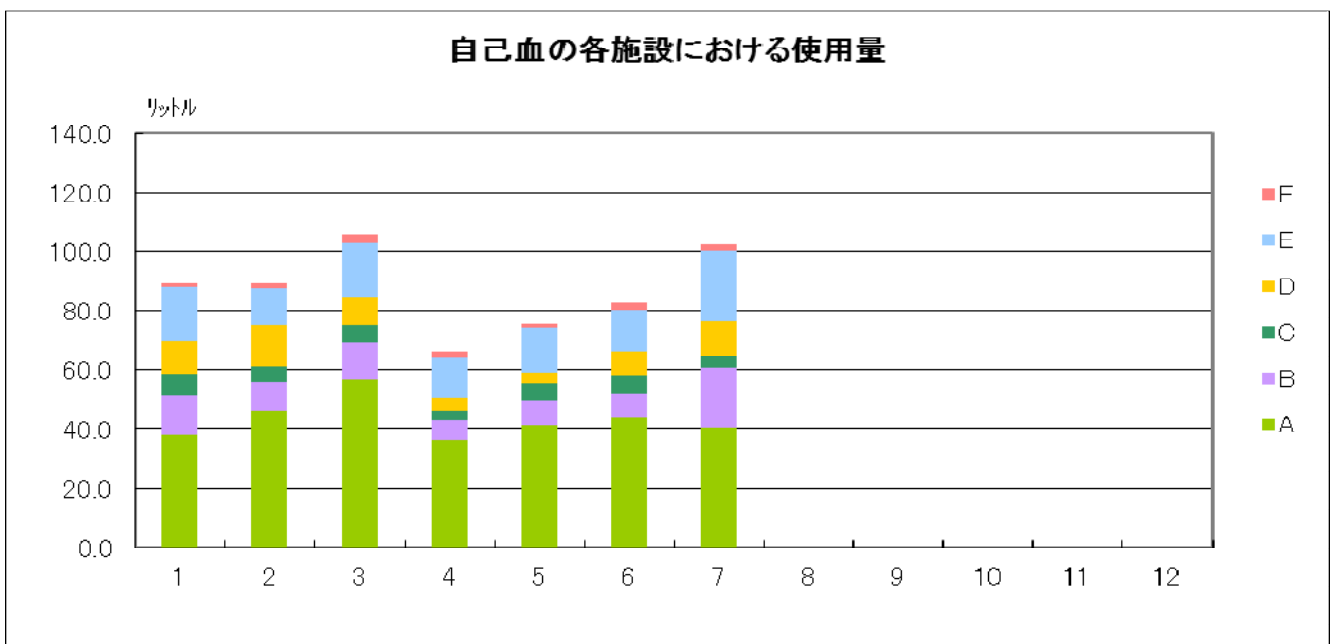


## ○自己血

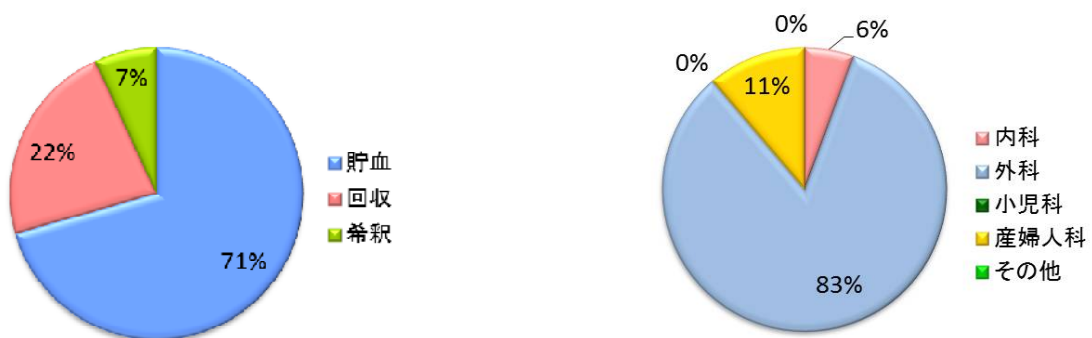
自己血の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	自己血使用量(リットル)				診療科別							全体の使用量に対する割合(%)
	貯血	回収	希釈	計	内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計		
A	22.5	10.9	7.1	40.4	2.8	30.3	0.0	7.3	0.0	40.4	100.0	
B	10.7	9.5	0.0	20.2	2.0	15.9	0.0	2.3	0.0	20.2	100.0	
C	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	3.6	0.0	0.4	0.0	4.0	100.0	
D	9.2	2.6	0.0	11.8	0.0	11.0	0.0	0.8	0.0	11.8	100.0	
E	23.8	0.0	0.0	23.8	0.8	20.2	0.0	0.4	0.0	21.4	89.9	
F	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	100.0	
計	72.2	23.0	7.1	102.2	5.6	83.0	0.0	11.2	0.0	99.8	97.7	



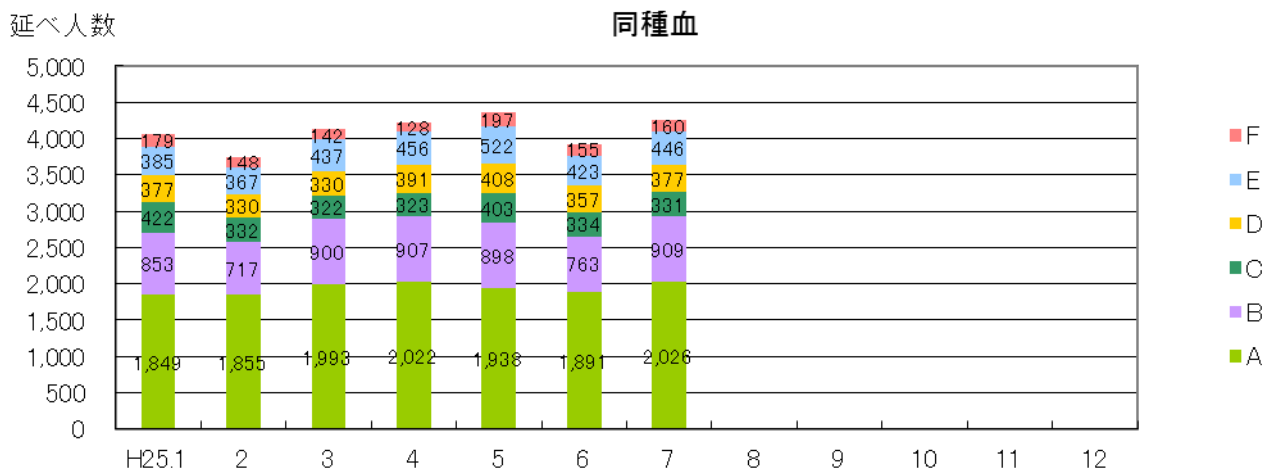
【自己血輸血の種類と診療科別の割合】



○輸血実施患者数（延べ人数）

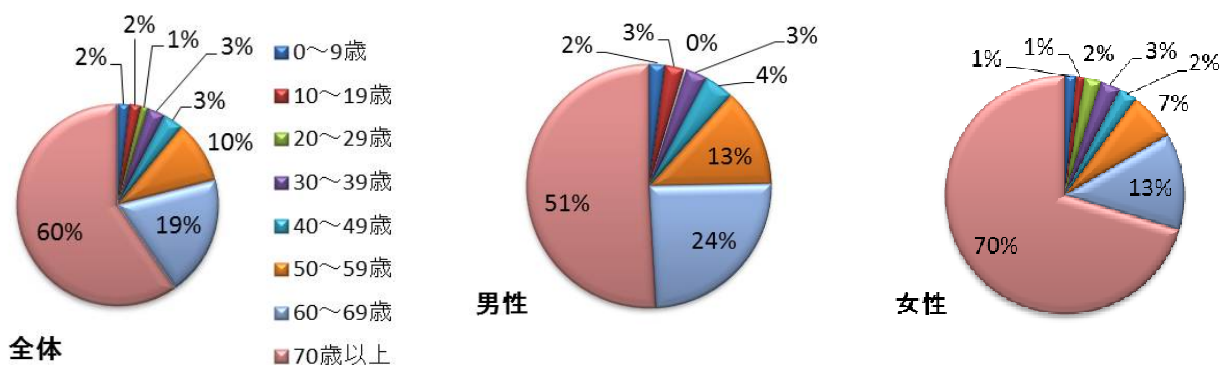
7月	A	B	C	D	E	F	Total
同種血	2,026	909	331	377	446	160	4,249
1床あたり	0.57	0.43	0.15	0.15	0.13	0.10	0.27
自己血	67	35	9	28	40	3	182
アルブミン	392	485	227	165	255	41	1,565

※ アルブミンについては全施設がデータ提出しているわけではないので参考データ扱い。



【男女別年代別の同種血延べ人数】（データ提出施設分のみ）

7月	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	Total
男	33	40	4	46	62	204	384	801	1,574
女	20	14	30	35	32	84	171	912	1,298
計	53	54	34	81	94	288	555	1,713	2,872

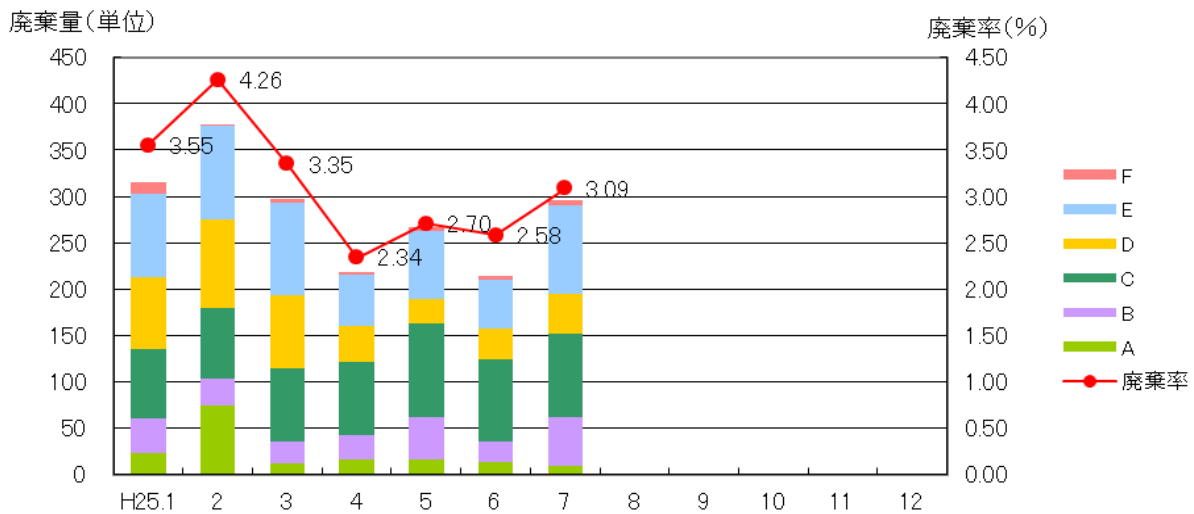




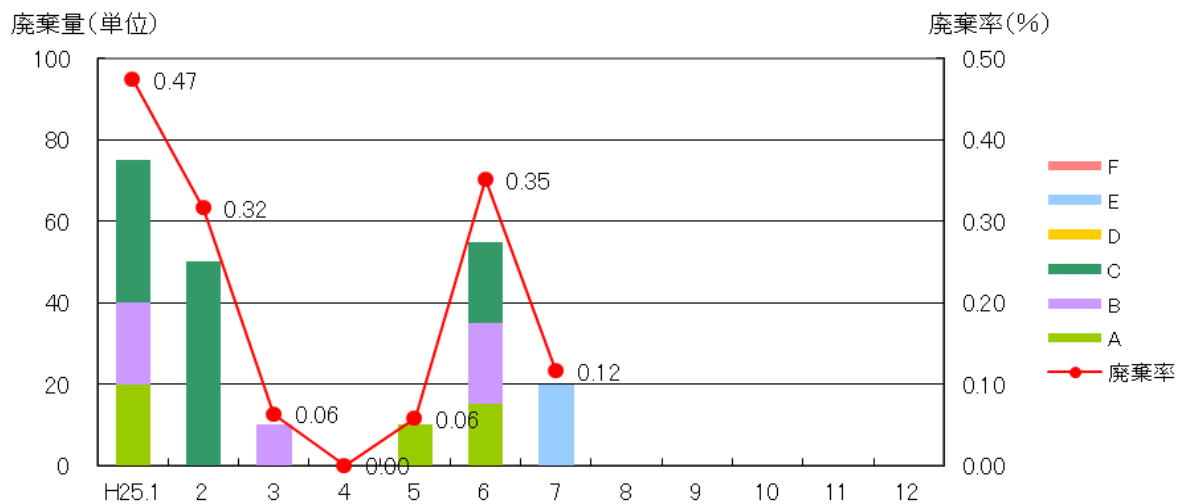
### ○血液製剤及び自己血の廃棄率

7月	A	B	C	D	E	F	Total
赤血球製剤(単位)	10	52	90	43	95	6	296
血小板製剤(単位)	0	0	0	0	20	0	20
血漿製剤(リットル)	1.3	1.0	2.2	0.5	0.9	0.0	5.8
自己血(リットル)	1.5	1.2	2.0	0.0	0.0	0.0	4.7

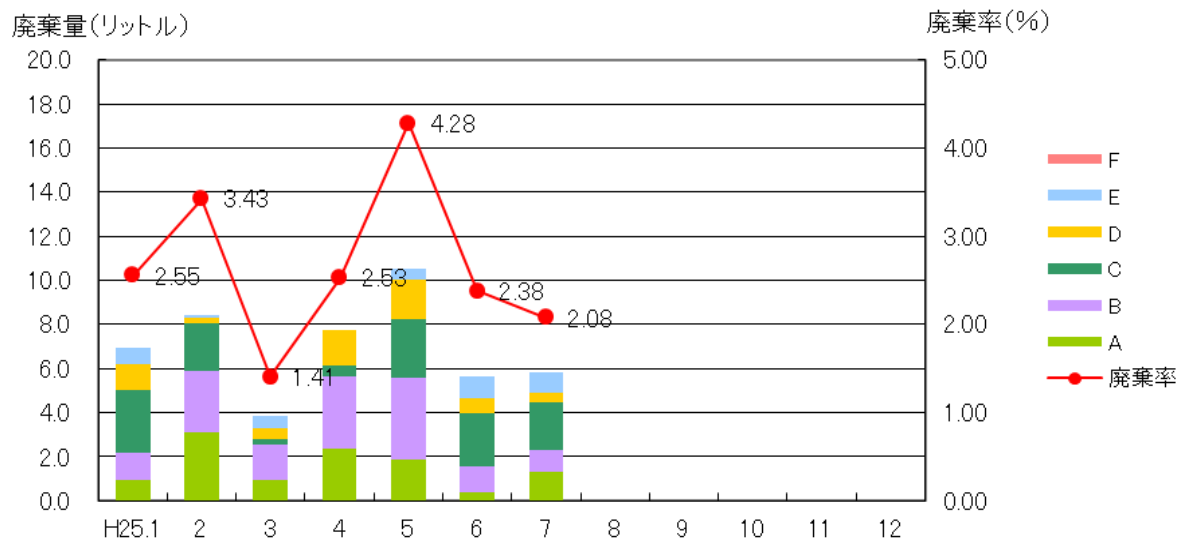
#### 赤血球製剤の廃棄量と廃棄率



#### 血小板製剤の廃棄量と廃棄率



### 血漿製剤の廃棄量と廃棄率



### 自己血の廃棄量

